



◆其の八十

〱コメ作り〱はじめました

炊き立てのおいしいご飯。それは私たちの生活に欠かせないものの一つですが、お米はいつごろから日本で作られるようになったのでしょうか。

コメ作りが弥生時代に始まったことは教科書にも載っていますが、実は玄界灘沿岸は日本でもいち早く根付いた地域なのです。それはこの地が中国や朝鮮半島から近く、海を越えての往来が多かったためです。かの地からやってきた人々と共に、コメ作りがこ



炭化米(歴史博物館常設展示より)

の地に根付いたことは、遺跡やそこから出土する土器などから明らかになっています。今からおよそ2500年前のことです。

沿岸部に根付いたコメ作りは、ほどなくして内陸にある「ちくしの」にも伝わります。玄界灘沿岸でコメ作りを始めたヒトたちが使っていたものと同じ特徴を持つ土器が市内の遺跡からも出土しているのです。

現在の「美しが丘北」付近にあった遺跡からは、炭化したコメやコメを調理した土器も見つかっています。

このように、「ちくしの」でも弥生時代の始まりとともにコメ作りを生活の手段とするようになります。彼らこそ「ちくしの」の農家の始まりと言ってよいでしょう。

住宅地のすぐ近くに田園風景が広がる、自然豊かな「ちくしの」。見慣れたこの景色は、彼らのコメ作りとともに生まれたものなのです。

関文化財課

